

大人の自覚を胸に

～平成21年にかほ市成人式～

1月11日、スマイルを会場に「平成21年にかほ市成人式」が開催されました。華やかな振り袖や、折り目の付いたスーツに身を包んだ256人（対象者315人）が出席しました。式では、国歌・市民歌斉唱に続き、成人証書の授与と記念品の贈呈。市長式辞、来賓祝辞などの後、斎藤亮さん（室沢）が「不況の時代だが、多くの経験を通じ自己の土台を確立したい。未来に貢献できるよう精一杯努力し、挑戦し続ける」と新成人誓いのことばを述べました。その後、鎌田元成さん（南金浦区）の代表朗読により、市民憲章を全員で読み上げました。

悪天候の中の出陣でしたが、新成人たちからは、早くも大人の自覚と未来への希望が感じられていました。



▲成人証書を受け取る須藤翼さん(大須郷)

二十歳の誓い

村上沙和恵さん(桜ヶ丘)「成人式を迎え、大人としての自覚を持って行動していきたいです」



今野達也さん(大竹2区)「大人としての責任と自覚を持って生きていきたいです」



宮崎恵美さん(鈴)「20歳として責任ある行動をとりたい。ステキな女性になることを目指します」



▼写真1番左が宮崎さん

プロの目が捉えるにかほの風景

～風景写真パネル寄贈～

プロカメラマンの田上正富（東京都在住）さんが個展に展示した中から、ブナの森や池沼など、にかほ市の美しい風景を撮影した写真（パネル）6点が寄贈されました。

2月中は象潟庁舎市民ホール、以降は1カ月ごとに金浦公民館、スマイル、道の駅「ねむの丘」に順に展示する予定です。



▲奈曾の白滝を撮影した「春光の滝」

全日本アンサンブルコンテスト 秋田県中央地区予選

【金賞】金浦中学校 吹奏楽部
サクソフォン4重奏

▼サクソフォン4重奏のメンバー（写真左から）齋藤隆矢さん、鳥潟莉子さん、今野菜摘さん、伊藤美波さん



もちを花びらに見立て

～まがりやもちつき大会～

1月10日、旧佐々木家住宅「曲屋」で、「まがりやもちつき大会」が行われました。

もちつき大会には、市内の子どもや保護者たち約60名が参加しました。

もちつきが始まる前に、コマやけん玉、お手玉等の昔あそび体験も行われ、コマ回しを保護者に教えてもらい、上手にコマ回しをする子どもやお手玉を親子で楽しむ姿がありました。その後、もちつきが行われ、ついたもちを子どもたちの手により榎の枝に花びらとしてとりつけられました。花もちは神棚に1年間飾られます。



▲花びらに見立て取り付けられるもち

◀子どもたちもいっしょにもちつきを楽しみました

ことし1年の無病息災を

～赤石地区小正月行事「アマハゲ」～

1月12日、赤石地区で恒例の小正月行事「アマハゲ」が行われました。

墨で顔を真っ黒に塗り、口紅をつけ、みのをまとった小学生扮する無病息災の使者「アマハゲ」が、太鼓やジャガの音とともに「アマハゲ来たじゃ銭ダラ五文 酒ダラ1升 餅いらね ええ餅よんだ」と叫びながら赤石地区の各家々をまわります。

アマハゲは各家々に入り、神棚の前で15回飛び跳ねながらことし1年の無病息災と家内安全のおはらいを行っていました。



神棚の前でお払いをする無病息災の使者

継承される小正月行事

～「アマノハギ」「サエの神行事」～

1月中旬、小正月行事の「アマノハギ」「サエの神行事」などが上郷各地区で行われました。

アマノハギより恐ろしいお面の「アマノハギ」（小滝と石名坂）、小屋焼きや鳥追いをする「サエの神行事」や雪中田植え（横岡と大森：国の重要無形民俗文化財「上郷の小正月行事」）など、集落に昔から伝わってきたものです。少子化、核家族化などで社会環境は変化しても、五穀豊穡や子孫繁栄など、さまざまな願いとともに継承されていきます。



石名坂・アマノハギ(左) 横岡・雪中田植え(下) 小滝・アマノハギ(右)